

令和 7 年度乙川河川緑地（殿橋下流左岸等を除く）事業報告書

公の施設名称	乙川河川緑地（殿橋下流左岸等を除く）
施設の設置目的、役割	都市空間と水辺空間の一体的整備、回遊性の確保に取り組み、観光拠点となるにぎわいの場の創出
施設の所在地	愛知県岡崎市康生町から吹矢町ほか
施設規模	敷地面積：235,100 m ²
管理者	名 称：ホームックス・スノーピークビジネスソリューションズ 共同企業体 所在地：岡崎市籠田町 15 番地 三徳屋ビル 2F 代表者：ホームックス岡崎支店 支店長 藤崎 修一朗
指定期間	令和 5 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで

1. 事業の実施状況

(1) 業務遂行体制

役割	担当
公園統括管理責任者 プレイスマネージャー イベント支援担当者	名古屋・豊川等で指定管理施設の運営及び管理実績
外構管理責任者	2 級造園技能士、チェーンソー特別教育、刈払機取扱作業 者、高所作業車、林業現場責任者修了
公園施設・設備保守管理責任者	名古屋・豊川等で指定管理施設の運営及び管理実績
広報地域連携	岡崎市に本社がある（株）スノーピークビジネスソリューションズで、 7 町広域連合等などの地域連携実績
日常管理・清掃・来園者受付 案内担当者	

(2) 業務実施

① 施設の運営に関する業務

乙川河川緑地管理運営事業 業務仕様第2章 施設の運営に関する業務に則して実施した。

- ・ 施設管理業務
- ・ 受付業務
- ・ 広報活動

乙川リバーライフプロジェクトのWEBコンテンツ
QURUWA WEB (quruwa.jp)、ボードの活用
近隣関係住民の皆様へのご案内（会合等への出席）
市政だより

- ・ その他関連事業

② 施設及び設備等の維持管理に関する業務

ア. 施設等保守管理業務

対象施設について、日常点検を実施した。

- ・ トイレ 異常なし
- ・ ローラースポーツ場
2/12 保守点検実施。⇒異常なし
- ・ テニスコート
2/12 保守点検実施。⇒異常なし
- ・ 親水施設 異常なし
- ・ 駐車場 異常なし
- ・ 遊具 異常なし
- ・ 園路 異常なし
- ・ 園地
- ・ ベンチ

8/31 吹矢橋下流側ベンチ破損。9/5 撤去。⇒原因不明

10/13 乙川殿橋下流右岸川側ベンチ破損。当事者により修繕完了。

10/14 乙川殿橋下流右岸川側ベンチ破損。(株)庭芳造園により修繕完了。

- ・ 公園灯 異常なし

イ. 設備保守管理業務

対象設備について、日常点検を実施した。

- ・ フットライト
5/17 犬市場出店者により破損。⇒出店者により修繕。
5/28 ライト不灯⇒本体交換完了

8/3 花火大会撤収作業中に破損。10/2 修繕完了。

10/19 アーバンセーフリンクにより破損。当事者により修繕完了。

10/31 秋まつり出店者により破損。1/23 修繕完了。

- ・ ポラード

殿橋下流右岸スロープ入口変形。8/28 修繕完了。

11/23 ニューグランドホテル前ポラード破損。当事者により修繕完了。

- ・ 照明設備 異常なし

- ・ 給排水衛生機器 異常なし

- ・ 配管等 異常なし

ウ. 物品保守管理業務

- ・ 物品：その他 異常なし

エ. 清掃業務

- ・ 河川緑地

※日常清掃を実施、イベント後には重点的に実施した。

- ・ トイレ

※日常清掃を実施した。

- ・ その他エリア

※上下流および左岸など近隣エリアのごみ拾いなどを実施し、エリア全体の美観向上に努めた。

オ. 施錠巡回・警備業務

※日常的に施設巡回を実施した。

③ 駐車場開閉業務

※乙川河川緑地（殿橋下流左岸等を除く）維持管理・運営業務 4 章駐車場開閉業務に則して実施した。

④ 植栽維持管理業務

植栽維持管理業務乙川河川緑地（殿橋下流左岸等を除く）維持管理・運営業務 5 章植栽の維持管理に関する業務に則して実施。



エリア			
B1エリア	花火大会前の草刈り	1回／年	市内造園業者
	気候・イベントを踏まえた草刈り	適宜※	市内造園業者
B2エリア	花火大会前の草刈り	1回／年	市内造園業者
	気候・イベントを踏まえた草刈り	随時（基本は週3回）	常駐スタッフ

ア. B1 エリア

- ※ 6月、一斉草刈りを実施した。
- ※ 7月、花火大会前の一斉草刈を実施した。
- ※ 10月、一斉草刈りを実施した。

イ. B2 エリア

- ※ 4月から12月は日常作業の中で定期的に草刈りを実施した。
- ※ 6月一斉草刈を実施した。全体的にラジコン草刈り機と刈払機を併用し草刈作業を実施した。
- ※ 7月一斉草刈を実施した。全体的にラジコン草刈り機と刈払機を併用し草刈作業を実施した。
- ※ 10月一斉草刈を実施した。全体的にラジコン草刈り機と刈払機を併用し草刈作業を実施した。
- ※ 1.2.3月は草刈り作業を行っていない。ゴミ拾い、フットライト頭出し、グラウンド整備の作業を主とした。

⑤ 防災対策業務

乙川河川緑地（殿橋下流左岸等を除く）維持管理・運營業務 6 章防災対策業務に則して実施する。

フットライト等撤去業務

7/16 園路川側のみ撤去作業実施。7/18 復旧作業。

9/4 フットライト撤去作業実施。9/26 復旧作業。

転倒防止柵転倒作業

5/9 転落防止柵転倒作業実施。5/11 復旧作業。

6/11 転落防止柵転倒作業実施。同日復旧作業。

7/14 転落防止柵転倒作業実施。7/18 復旧作業。

9/4 転落防止柵転倒作業実施。9/10 復旧作業。

新乙川撤去業務

9/5 テニスネット撤去作業実施。9/13 復旧作業。

⑥ 提案事業の実施（募集要項に基づき提案した事業60日分）

月	日数		イベント名称	使用エリア			実施日		人数計画	人数	イベント種別		
	計画	実績		左岸	右岸	両岸	開始日	終了日			集客誘致/ 新規プレイヤー 実施型	地域資源活用/ 地域融合型	エリア連携一 体型
4月	6	6	お花見フード&マルシェ	○			4/1	4/6	—	—	●	●	●
	2	2	SPBSアウトドアオフィス		○		4/11	4/12	30人	30人		●	
	1	1	乙川リパークリーン	○			4/12	4/12	30人	25人		●	
	2	2	OUTBACK GARAGE MARKET		○		4/19	4/20	5000人	5200人	●	●	●
	2	2	SOUL FOOD JAM	○			4/19	4/20	5000人	4800人	●	●	●
	2	2	SPBSアウトドアオフィス		○		4/26	4/27	30人	30人		●	
	1	1	おかざきリバーサイドリレーマラソン			○	4/27	4/27	500人	385人	●	●	●
5月	3	3	SFJ GWスペシャル	○			5/3	5/5	6000人	17000人	●	●	●
	3	3	水のアクティビティ大集合			○	5/3	5/5	3000人	275人	●	●	●
	3	3	Let it Canp GWスペシャル		○		5/3	5/5	100人	315人	●	●	●
	1	1	乙川リパークリーン	○			5/10	5/10	30人	20人		●	
	2	1	犬市場			○	5/18	5/18	4500人	4520人	●	●	●
			犬市場（5/17雨天のため中止）			○	5/17	5/17	—	—			
6月	3	3	SPBSアウトドアオフィス		○		6/11	6/13	30人	40人		●	
	1	1	乙川リパークリーン	○			6/14	6/14	30人	30人		●	
	3	3	SPBSアウトドアオフィス		○		6/18	6/20	30人	30人		●	
7月	1		水辺で乾杯（桜城橋のみで開催）	○			7/7	7/7	—	—			
	1	1	乙川リパークリーン	○			7/12	7/12	30人	25人		●	
8月	1	1	乙川リパークリーン	○			8/9	8/9	30人	25人		●	
	2	2	犬市場夜市			○	8/16	8/17	8000人	6807人	●	●	●
9月	1	1	乙川リパークリーン	○			9/13	9/13	30人	30人		●	
	1	1	おかざきリバーサイドマラソン			○	9/28	9/28	2500人	1415人	●	●	
10月	3	3	犬市場			○	10/11	10/13	12000人	7094人	●	●	●
	1	1	乙川リパークリーン	○			10/19	10/19	30人	30人		●	
	2	2	OUTBACK GARAGE MARKET		○		10/18	10/19	7000人	2000人	●	●	●
	2	2	SOUL FOOD JAM	○			10/18	10/19	7000人	6000人	●	●	●
	2	1	ある日の乙川		○		10/25	10/25	1000人	500人	●	●	●
	1	1	乙川リパークリーン	○			11/8	11/8	30人	20人		●	
11月	1	1	乙川リパークリーン	○			12/13	12/13	50人	50人		●	
12月	1	1	新春五万石マラソン			○	1/4	1/4	230人	250人	●	●	●
	1	1	乙川リパークリーン	○			1/10	1/10	50人	20人		●	
	1	1	寒中水泳	○			1/11	1/11	1500人	500人	●	●	
	1	1	出初め式 SOUL FOOD JAM	○			1/11	1/11	3500人	1500人	●	●	●
2月	1	1	乙川リパークリーン	○			2/14	2/14	50人	20人		●	
3月	1	1	乙川リパークリーン	○			3/14	3/14	50人	20人		●	
	7	7	お花見フード&マルシェ	○			3/25	3/31	—	—	●	●	●
合計	67日	64日	36回	20回	8回	8回			67,390人	59,006人	18回	34回	16回

⑦ 自主事業

イベント時に快適トイレ・追加シンクを使用できるようにし、プログラム実施者の利便性の向上に努めた。

規模が大きく集客の多いイベント開催時には駐車禁止看板を商業施設に設置した。

月	主となる個人・団体	プログラム名・内容	実施日	日数	人数	エリア
4月	株式会社STドライブスロ	ランニングスクール	4/7.10.14.17.21.24	6	129	殿橋下流左岸
	NPO法人 ぎらら岡崎	よさこい踊り	4/6	1	807	殿橋下流左岸
	乙川ナイトマーケット実行委員会	乙川ナイトマーケット	4/12	1	1,500	殿橋下流左岸
	NPO法人 おかざき農遊会	新鮮野菜の朝市	4/19	1	37	殿橋下流左岸
	踊和実行委員会	踊輪	4/27	1	30	
5月	株式会社STドライブスロ	ランニングスクール	5/1.8.12.15.19.22.26.31	8	180	殿橋下流左岸
	NPO法人 おかざき農遊会	新鮮野菜の朝市	5/3	1	27	殿橋下流左岸
	STUDIO ALMA	まちなかりバーSUP	5/5	1	3	殿橋下流左岸
	任意団体おとがわカヌー	カヌースクール	5/25.31	2	0	殿橋下流左岸を除く
6月	株式会社STドライブスロ	ランニングスクール	6/2.5.12.19.23.30	6	147	殿橋下流左岸
	NPO法人 おかざき農遊会	新鮮野菜の朝市	6/7.21	2	57	殿橋下流左岸
	岡崎レジリエントサポート	リバーネイション	6/21.22	2	1,500	殿橋下流左岸
	乙川ナイトマーケット実行委員会	乙川ナイトマーケット	6/28	1	1,500	殿橋下流左岸
	任意団体おとがわカヌー	カヌースクール	6/7.21.22.28	4	12	殿橋下流左岸を除く
	ONE RIVER	Let it Camp	6/1.7.8.14.15.21.22.28.29	9	106	殿橋下流左岸を除く
7月	STUDIO ALMA	まちなかりバーSUP	6/1.7.21.29	4	12	殿橋下流左岸
	株式会社STドライブスロ	ランニングスクール	7/3.7.10.12.14.17.19.24.28	9	219	殿橋下流左岸
	NPO法人 おかざき農遊会	新鮮野菜の朝市	7/5.19	1	48	殿橋下流左岸
	乙川ナイトマーケット実行委員会	乙川ナイトマーケット	7/12	2	1,500	殿橋下流左岸
	STUDIO ALMA	SUPヨガ&クルーズ	7/20	1	6	殿橋下流左岸
	任意団体おとがわカヌー	カヌースクール	7/5.12.19	3	13	殿橋下流左岸を除く
	ONE RIVER	Let it Camp	7/5.6.12.13.19.20	6	81	殿橋下流左岸を除く
8月	乙川ナイトマーケット実行委員会	乙川ナイトマーケット	8/9.23	2	1,500	殿橋下流左岸
	株式会社STドライブスロ	ランニングスクール	8/8.9.12.13.15.18.22.23.25.29.30	11	248	殿橋下流左岸
	ツツイエンターテイメント	岡崎城下舟遊び	8/17.30.31	3	7	殿橋下流左岸を除く
9月	STUDIO ALMA	まちなかりバーSUP	9/21	1	2	殿橋下流左岸
10月	株式会社STドライブスロ	ランニングスクール	10/2.6.9.11.13.16.20.27.30	9	225	殿橋下流左岸
	NPO法人 おかざき農遊会	新鮮野菜の朝市	10/4	1	22	殿橋下流左岸
	ONE RIVER	Let it Camp	10/4.5.25.26	4	97	殿橋下流左岸
						殿橋下流左岸
11月	株式会社STドライブスロ	ランニングスクール	11/3.5.6.7.10.13.14.15.17.20.21.22.24.27.28.29	16	220	殿橋下流左岸
	LANDMARK VINTAGE CLOTHING	ジャンクションビンテージマーケット	11/8	1	1,000	殿橋下流左岸を除く
	ONE RIVER	Let it Camp	11/8.9	2	43	殿橋下流左岸を除く
	NPO法人 おかざき農遊会	新鮮野菜の朝市	11/15	1	20	殿橋下流左岸
	日本ノルディックフィットネス協会	岡崎レースノルディックウォーキング 2025	11/15	1	21	殿橋下流左岸を除く
	STUDIO ALMA	おとがわサンデーヨガ	11/16	1	20	殿橋下流左岸
	乙川ナイトマーケット実行委員会	乙川ナイトマーケット	11/22	1	1,500	殿橋下流左岸
	ホットヨガスタジオLet's	Park Yoga in 乙川	11/23	1	20	殿橋下流左岸
12月	株式会社STドライブスロ	ランニングスクール	12/1.3.4.6.8.11.13.15.17.18.20.22.25.27	14	200	殿橋下流左岸
	ONE RIVER	Let it Camp	12/6.7.20.21.27.28	6	93	殿橋下流左岸を除く
	株式会社Lien	Lien乙川夏まつり	12/13	1	1,000	殿橋下流左岸
1月	株式会社STドライブスロ	ランニングスクール	1/5.7.8.10.12.15.17.19.22.24.26.29.31	13	294	殿橋下流左岸
	ONE RIVER	Let it Camp	1/17.18.24.25	4	71	殿橋下流左岸を除く
2月	株式会社STドライブスロ	ランニングスクール	2/2.5.7.9.11.12.14.16.19.21.23.26.28	13	296	殿橋下流左岸
3月	株式会社STドライブスロ	ランニングスクール	3/2.4.5.7.9.11.12.14.16.19.20.21.23	13	284	殿橋下流左岸
	乙川ナイトマーケット実行委員会	乙川ナイトマーケット	3/14	1	1,500	殿橋下流左岸
	NPO法人 おかざき農遊会	新鮮野菜の朝市	3/7.23	2	46	殿橋下流左岸
	ドーダン	よさこいDODAN	3/1	1	165	殿橋下流左岸を除く
令和7年総合計				195	16,808	

日数・人数

(3) 管理運営上の目標に対する実績

提案事業にエリア連携一体型のイベントを7回以上計画する；(実施回数 18回)

岡崎城公園との相互割引や市内業者出店ブース誘致などで連携を図った。

(4) 事業実施に対する自己評価

① 施設の運営に関する業務

令和 7 年度分の利用について、前年 12 月にまとめて申し込みを受け付けた。(4 月～11 月のイベント繁忙期を一度に申込可能)

② 結果として、1 月には 11 月末までのイベント情報が確定し、まとめて WEB のカレンダー上に公開することができた。これにより、キャンプなどの使用日数多い行事の日程調整や、空き状況の問い合わせへの対応が可能になった。

申込受付方法について苦情はなく、イベント主催者にとっての利便性が向上した。

③ 施設及び設備等の維持管理に関する業務

維持管理業務は問題なく実施。日常的に行われる各プログラムやイベントがあるため、草刈は回数を固定し一度に広いエリアを実施する方式ではなく、少人数で小さなエリアに区切り、3 回/週、草刈やごみ拾いなどの清掃を行い日常的に使用しやすい環境を目指した。

増水時の対応をマニュアル化し、フットライト撤去・高欄操作作業を実施した。

④ 提案事業

集客誘致・新規プレイヤー実施型 ; 18 回 (目標 20 回)

市内外の集客を誘致し、岡崎市および乙川の認知向上を図り、エリア全体への間接的な波及効果へつなげた。

地域資源活用・地域融合型 ; 34 回 (目標 38 回)

イベントの主体的役割を果たすメンバーや、出店者に岡崎市内在住・在勤を含んでいくこと。イベントの要素としては、かわまちづくりや、地域資源の活用などの要素を含むなど乙川から地域の魅力を発信することで、シビックプライドの醸成と持続的なかわまちづくりにつなげた。

エリア連携一体型 ; 16 回 (目標 18 回)

QURUWA エリアや市内の各所との連携や活用を通して、回遊性を高めるとともに、エリアの相乗効果をねらい、エリア全体の価値向上につなげた。

⑤ 自主事業

乙川河川緑地でのプログラム実施時に利用者の利便性を高めるべく、追加シンクを設置し、活用を継続した。また、近隣の大型商業施設への迷惑駐車を防止するため、大規模イベントの際には現地に看板を設置した。

⑥ 日常利用

申請の必要のない日常利用は、ウォーキングや犬の散歩などのほか、カヌーの個人利用があった。日常的に草刈、ゴミ拾いなどを行っていることで、現地での問い合わせなどを受け付けることができた。

2. 施設の利用状況

(1) 利用状況

参加人数 ; 16,808 人

合計 195 日の利用 (稼働日数)

合計日数 提案事業分 64 日 一般利用 195 日

(合計日数は複数プログラムの並行開催等あるので稼働日数と一致しない)

(2) 利用状況に対する自己評価

今年度は、複数のプログラムでも実施可能であれば受け入れるようにした。おかげでより多くのプログラムを実施し、少しでも多くの来場者を受け入れる努力をした。

3. 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入		50,000,000
	利用料金収入		285,204
	事業収入		0
	その他収入	修繕費費用負担金	(1,000,000)
収入 計			51,285,204
支 出	直接管理運営費	直接人件費、光熱水費、消耗印刷費、 修繕費、清掃等委託料、保険料等	45,715,728
	(うち修繕費)	※精算項目	1,000,000
	事業費	事業に係る経費	0
	その他	本部経費、租税公課、当期剰余金等	4,569,476
支出 計			51,285,204
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

利用料金収入については、計画値から下回る結果となった。要因として、殿橋下流右岸のみでの開催プログラムが少なかったことがあげられる。支出のうち、維持管理の面で、乙川の増水対応が計画では概ね計画通りに推移した。草刈りが想定以上の範囲を外部に委託する形となった。結果外部委託費用は計画を上回った。上記結果を人員配置の

効率化とラジコン草刈り機の稼働などにより人件費を抑えることでバランスを取った。

4. 4-1 利用者アンケート結果（イベント）

（1）実施概要

回答者数	アンケート実施方法
120 件	提案事業イベント来場者への聞き取り (アウトバックガレージマーケット)

（2）アンケート結果概要

来場者アンケートは、イベント時に年間を通した来場者の満足度や、ニーズを把握することで次回以降の事業に反映させることを目的に実施した。また、市内市外からの来場者を把握することで、観光拠点となるにぎわいの場の創出ができたかを確認した。

場所：殿橋下流兩岸

① どちらから

	1. 市内	2. 市外（県内）	3. 県外
①どこから	43	52	25
	35.8%	43.3%	20.8%

市内だけにとどまらず、市外からの来場も多かった。愛知県外からの来場も 20.8%と遠くから足を伸ばしてくれる来場者も少なくなかった。

② 来場形態

	1. 家族	2. 友人	3. その他
③ 形態	46	61	13
	38.3%	50.8%	10.8%

約半数が友人と来場となった。1 人での来場に比べ、複数での来場が多く見られた。

④ 来場手段

	1. 名鉄	2. 愛環	3. 自動車	4. 徒歩・自転車	5. その他
③来場手段	6	2	101	9	2
	5.0%	1.6%	84.1%	7.5%	1.6%

昨年同様自動車での来場が圧倒的に多かった。電車利用した来場者は少なかった。西三河エリアからの来場でも自動車で来場していることが分かった。

⑤ 来場のきっかけ

	1. イベント	2. 相互割引	3. 岡崎城の告知を見て	3. その他
④きっかけ	114	0	2	4
	95.0%	0%	1.6%	3.3%

イベントを目的にして来場した方が大半。岡崎城との相互割引をきっかけとしての来場者はいなかった。

⑥ 地元企業（店舗）のブース出店について

	1. うれしい	2. どちらでもない	3. うれしくない
地元店舗の参加	75	41	4
	62.5%	34.1%	3.3%

（３）アンケート結果に対する自己評価

今回のアンケートでは昨年同様程度の結果となった。岡崎市内だけでなく周辺の西三河、愛知県内各地、遠くは愛知県外からも幅広くイベントに来場されていることが分かった。イベントを知るきっかけになっているものとして SNS 等のインターネットが主体となっていることから、マメな情報発信が重要であるということが分かった。

乙川河川緑地の役割のひとつである、【観光拠点としてのにぎわいの場の創出】という点で評価できる結果となった。

来場手段として車を利用する方の比率が高いため、駐車場の確保や駐車場案内の重要性を感じるとともに、電車等での来場を促す効果的な方法を考える必要性を感じた。

４－２ 利用者アンケート結果（平日一般利用）

（１）実施概要

回答者数	アンケート実施方法
55 件	一般利用者への聞き取り調査

（２）アンケート結果概要

来場者アンケートは、日常利用のための来場者の満足度や、ニーズを把握すること目的に実施した。実施は平日に行った。

場所：殿橋下流兩岸

① 利用の目的（来場目的）

目的	1. 散歩	2. ジョギング	3. その他
人数	38	11	6
	69.0%	20.0%	10.9%

散歩、ジョギングといった日常利用が多い。その他は読書をしている方、出先に行くための方、川辺で休憩をしに来たといった人も見られた。

② 来場手段

手段	1. 徒歩	2. バス・電車	3. 車	4. バイク
人数	49	0	6	0
	89.0%	0%	10.9%	0%

近隣の方が多かったため徒歩が圧倒的に多かった。

③ 自由意見

いつもありがとうや綺麗にしています等の日常管理に対するお褒めの言葉をいただいた。その他否定的な意見はなかった。

(3) アンケート結果（一般）に対する自己評価

平日という条件から近隣の方の散歩、ジョギングの理由が多かった。おおむねゆっくりできる環境を利用するという目的だった。前述のイベント利用とは対照的にゆっくりできる環境も兼ね備えている。日常管理面での否定的な意見（クレーム等）がなかったことはよかった。

5. 利用者のニーズ把握に対する自己評価

施設利用者にはプログラムやイベント実施後にヒアリング等を行い、「公平な運営」と「迅速な対応」を心がけた。

利用申請などのやり方は、前年 12 月に翌年度の 4 月～11 月のイベント繁忙期を一度に申込可能にした。公平さと平等性を担保し、利用者の声を反映して柔軟な対応を行った。イベントスケジュールを web 上に公開することで、空き状況を利用者が把握できるようにすることで利便性を向上させた。申請時に web 上の入力フォームを用意し利用者サービスの向上を図った。

イベント情報についても、随時更新することで主催者の情報発信に協力した。

6. 苦情対応等に対する自己評価

本年度も継続して「安心安全な運営」と「迅速かつ誠実な対応」を心がけた。ゴミについての苦情が寄せられたが即時対応を行った。また、他施設での事例をもとに騒音についての苦情等が発生しないよう、配慮して運営を行った。結果騒音についての苦情はなかった。

